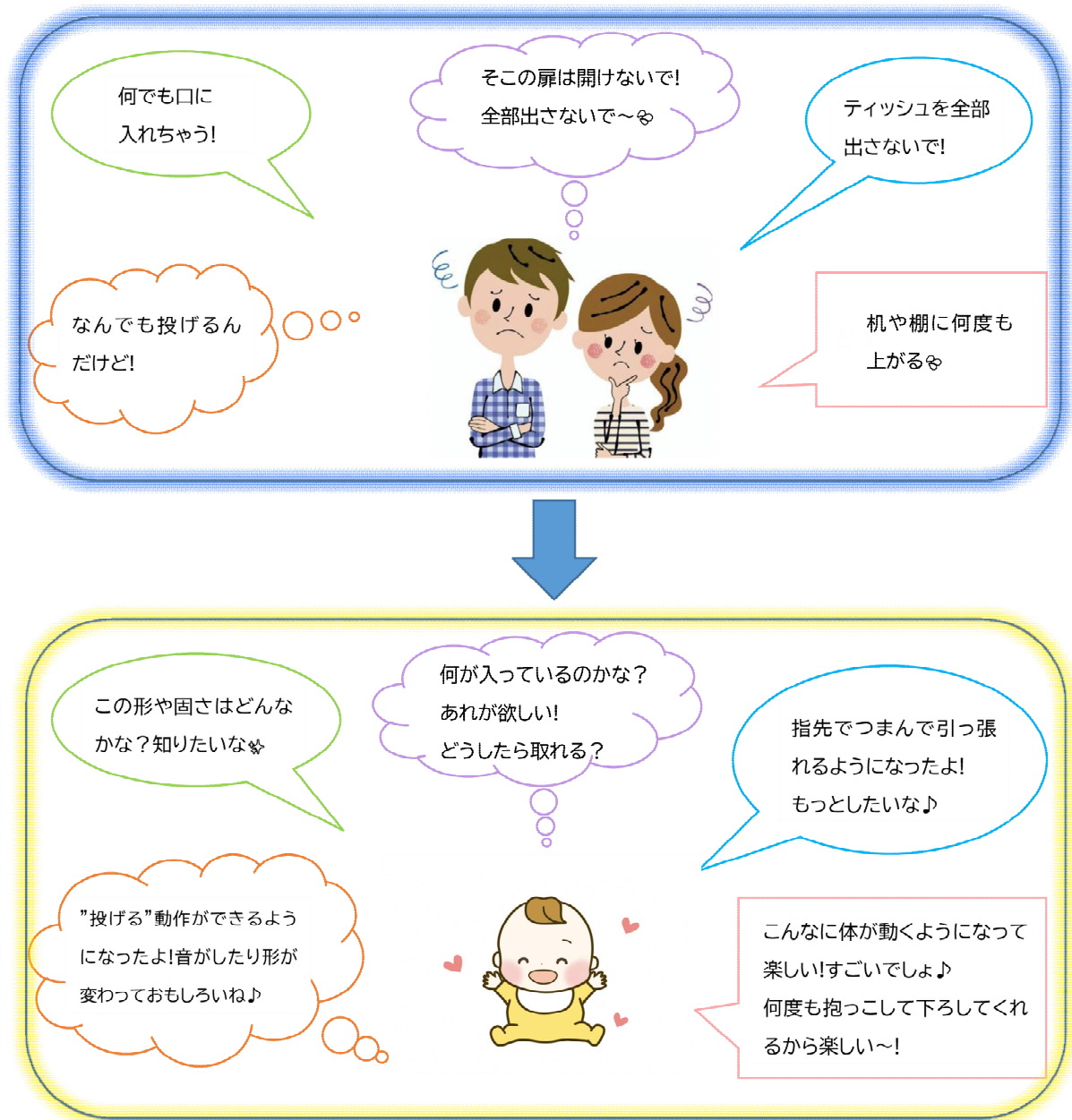


子どもの行動には理由がある！？

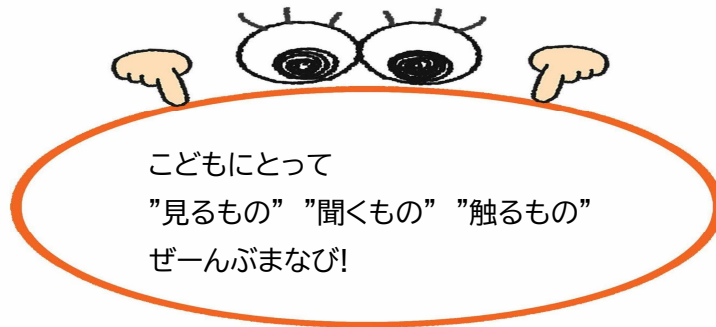
日々のこそだての中で、微笑ましい出来事や成長を感じる喜ばしい瞬間があると思います。
その一方で「なんでこんなことするの?」「それはやめて!」などと、こどもの行動が理解できなかったり
困ったりする場面もあるかと思います。



そんな時、こどもの視点になって考えると行動の背景がわかり、少し違って見えてくるかもしれません。

「あれが欲しい。どうしたら取れる?」と思ったときに手や足をどう動かしたらいいのかななどを、あそびを通して学習します。その動きを繰り返すことで、自分で食べる、着替えるなどの生活習慣の動きができるようになってきます。

やりたい遊びをとことんすると、不思議とその遊びはしなくなります。「あんなに扉を開け閉めしてたのに…」と思うかもしれません。その遊びを体が習得するとまた次のステップへ進むからです。



危険な行為を見かけた時、思わず「ダメ!」と大きな声や高い声で止めてしまうことがあります。小さいこどもは、それを大人が喜んでいる、楽しんでいると思ってしまうことがあります。また、行動を止められたり、おもちゃを急に取り上げられたりして遊びを止められると、泣いて怒って訴えます。



- ・いつもより低い声で静かに話しかける。
- ・顔を横に振ったり、バツとジェスチャーをする。
- ・違うことに気をそらせる。
- ・言葉が理解できてくると、やめてほしいことを願います。



こちらの思いが伝わって止めることができたなら、それを大いに認めたり、聞いてくれてありがとうと伝えましょう。次に変わりの物に代えたり、一緒に遊びを楽しむことでおもちゃの正しい使い方のお手本になります。

★やりたいあそび(機能の習得)ができる代替えを用意する★



- ☆ティッシュを出す。絵本をやぶる→布を引っ張る。紙をちぎるあそび。
- ☆何でも投げる。→ボールや紙を丸めたもの(投げてよい物)に代える。

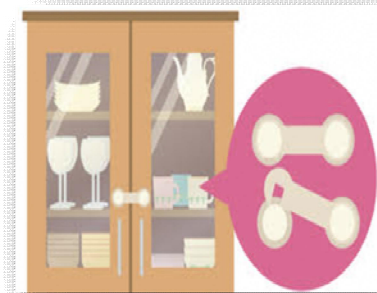
★環境を見直してみよう★

危険な場所はあらかじめ予防しておくことで負担が軽減されることがあります。

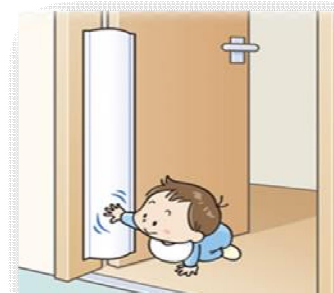
ベビーサークル



扉が開かないように
チャイルドロックを取
り付ける。



扉に指が挟まらないよ
うにガードを付ける。



ベビーサークルは、こどもが自分で動けるようになってからも長時間過ごすことは、こどもの成
注 長のチャンスを逃してしまうことも!

こどもの動きはできるだけ制限せずに触ってほしくない場所にサークルをする工夫も必要です。

プレイルームで遊んでみよう!

おこさんの行動で困ったなと感じるときや、どうしたらよいかわからないときは、プレイルーム(地域子育て支援拠点)に遊びに来てくれると、支援員や先輩ママさんの話を聞いたり、おもちゃや遊具を参考にできます。また、おもちゃの使い方や友だちとのやりとりなども学べていい経験になりますよ♪

こどもの行動の裏にはどんな理由があるんだろう?と目を向けて付き合っていると、ちょっと余裕を持って先回りでき、できる限りあそびを止めたり注意しないで済み、楽しく接することができるかもしれません。

子育てコーディネーターもお話しをお聞きますので、いつでも気軽に声をかけてください。
お待ちしております♪

